

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
	みなべ町立上南部小学校	大野真紀
学校所在地		
(〒 6 4 5 - 0 0 2 6) 和歌山県日高郡みなべ町谷口 5 4 9 tel 0739 (74) 2004 fax 0739 (74) 3386		
担当者名		役職名・担当教科
北山喜浩		教頭
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6 年生 3 4 名	3 名 職員 3 名	世界遺産センター，熊野本宮大社，大斎原
実践研究テーマ		
和歌山の文化歴史について理解を深め，郷土の魅力について考える。		
実践教科等名	単元名	
社会科・総合的な学習の時間	世界遺産“熊野古道”について知り，その魅力を伝えよう	
〔キーワード〕 自然・文化・歴史の継承		
〔単元目標〕 ・世界遺産が多くの人々の思いによって支えられ，守られていることを理解する。（知識及び技能） ・世界遺産について調べたり，体験的な活動をしたりする中で，資料を集めたり，インタビューをしたり，必要な写真を撮影したりしてまとめ学習に必要な情報を集める。（思考力，判断力，表現力等） ・世界遺産の魅力についてまとめ，ポスターセッションなどで発信する。（思考力，判断力，表現力等） ・郷土のもつ良さや素晴らしさに触れ，これからも和歌山の自然や世界遺産等の文化を守るためにできることを続けていこうとする。（学びに向かう力，人間性等）		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 8 時間 （「世界遺産“熊野古道”の魅力を伝えよう」8 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 和歌山県世界遺産センター …世界遺産入門 次世代育成事業における事前学習，現地学習 他 古道マスター …現地学習でのガイド・質疑応答 他		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	和歌山県にある世界遺産について，調べ活動を行う。	事前に世界遺産に関する資料，ホームページを児童に提供する。	ワークシート 観察
2	和歌山県の世界遺産の特色やそれを守っている人々について話し合う。	実際の保全活動の様子や和歌山県世界遺産条例など身近でわかりやすい資料を用意する。	ワークシート 観察
3	和歌山県世界遺産センターの方による世界遺産入門を受講する。		ワークシート 観察
4	世界遺産マスターの方々のガイドと共に現地学習（古道ウォーク，道普請）を行う。	世界遺産マスターの解説をより児童に伝わりやすくするよう補助する。	ワークシート 観察
5	学習したことをまとめ，ポスターセッションを行う。	タブレットや模造紙等に，興味関心ごとのグループ編成でまとめさせる。 できたものを学級や学校で発信させる。	ポスター ワークシート 観察
〔単元学習の成果と課題〕 初年度と言うこともあり，どんなことができるか児童も学校も手探りであった。児童は，世界遺産を身近に感じるとともに，郷土和歌山について愛着や理解を深めていた。 しかし，最も重要であった道普請の活動が雨天のためできなかったので，子どもたち自身が世界遺産を守る意識を感じさせる体験ができなかったのは大変残念だった。			
〔世界遺産学習の効果〕 上記の通り，子どもたちはより身近に世界遺産を感じ，意欲的に学習に取り組み，理解を深めていた。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕 雨天で道普請ができないのであれば，保全活動をしている方の話を聞く，移動を町バスにして後日実施する等の方策をとる必要があると感じた。			

様式 2

令和 6 年度 「次世代育成事業」における学習記録

〔報告書 学習記録・活動写真〕



まず、到着後、センターの方から熊野古道について、2つの班に分かれて、熊野本宮館と世界遺産センターの展示を使った説明を受けながら、熊野本宮大社周辺の歴史や環境等について学習を深めた。



次に、田辺市本宮行政局に移動し、昼食を食べた。その後、古道マスターの方々にお目にかかり、グループに分かれての活動となった。



雨が激しくなったこともあり、当初の予定を変更して、古道歩きは祓殿王子からのスタートとなった。この雨の中でも外国人と見られる観光者はなかなかの人数が見受けられた。祓殿王子から熊野本宮大社、大斎原、そして、世界遺産センターまで徒歩で移動しながら、古道マスターの丁寧な説明を受けた。グループによっては、マスターに質問をするなど学習を深める様子も見られた。

